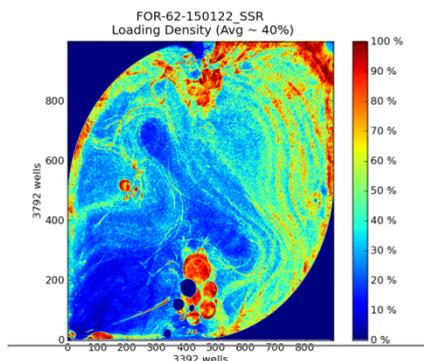
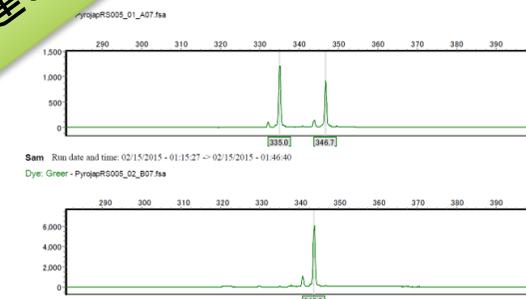


塘の研究計画:猪苗代湖、法生尻湿原、赤井谷地を含む表磐梯の池沼や湿地で、底生動物相調査を行います。裏磐梯でこれまで実施してきたと同様に、岸辺からのネットやトラップによる捕獲に加えて、場合によってはボートを利用したの捕獲も行います。池沼・湿地ごとにファウナをまとめ、保護上重要種や外来種の生息状況や分布範囲を把握します。得られた結果は改訂版福島県レッドリスト(今年度末公表予定)策定にも活用します。



兼子の研究計画:菌従属栄養植物イチヤクソウやチビコケカニムシなど土壌動物を対象に、クローン構造や繁殖生態などの分子生態学的研究を行います。裏磐梯地域を中心に採取してきたサンプルに加え、日本各地や韓国などの海外から採取したサンプルを用いて各種のDNA解析を実施することにより、裏磐梯に生育する興味深い生態をもつ生物が、どのような進化や歴史を有しているかを明らかにします。



生物の系統・進化 生物多様性保全・エコツーリズムに関連した研究

川崎の研究計画:2014年度から本格的に実施している裏磐梯の来訪者の特性を把握するための調査を継続的に実施します。具体的には、裏磐梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションにアンケート調査票と回収箱を設置し、全ての来訪者に対する質問事項とエコツーリズムに参加した来訪者に対する質問事項からなる調査票調査を実施します。今年度に得られた結果について、過去2年間の結果と比較して分析します。



黒沢の研究計画:これまでの調査で、裏磐梯の主要な場所の植物相調査は終わったので、中小の湖沼群の調査や、珍しい植物に関する情報が得られた場所について植物調査を行います。植物標本を採集し、標本室で保管します。齋藤慧コレクションや折笠常弘コレクションなど、裏磐梯の植物を多く含むコレクションの整理を進めます。生育情報をデータベース化し、標本画像を電子化し、インターネットで公開します。得られた知見を活かして、生物多様性保全活動を行います。

